

こんにちは！八戸薬剤師会です。

今回は、各委員会が開催しております研修会の活動報告です。

まずは、資質向上委員会さんから。

12月の学術生涯教育セミナーは、塩野義製薬さんをお招きし「インフルエンザウイルス感染症における新たな治療の選択肢」。最近はインバウンドの影響で、南半球で流行している感染症が国内に持ち込まれるケースもあり、季節外れのインフルエンザの発症も希ではなくなっているようです。ワクチンに関して、従来の不活化ワクチンのほかに、吸入タイプの生ワクチンも申請中とのこと。話題の新薬バロキサビルですが、発売済みの抗ウイルス薬よりもウイルス排出停止時間も短縮されてり、今後のインフルエンザ感染者の隔離期間などの動向も注視が必要に思いました。 @開催日:2018.12.12 場所:八戸市総合福祉会館

お次は、職能対策委員会さん。

第3回一般用医薬品等の研修会「より良いセルフメディケーションのために」を薬剤師と登録販売者を対象に開催いたしました。始めに最近注目の安心安全な除菌消臭水 iPOSH の機能やその活用方法のご紹介、次に OTC 胃腸薬の選び方と題して、薬局トリアージのために必要な対応方法や商品毎の特徴を。また最後は平成 29 年の調査結果から厚生労働省から医薬品の販売方法の遵守・徹底が求められており、要指導医薬品と一般用医薬品の販売方法を再確認していただくといった内容でした。ミノグロウ(リアップの後発品)、健康食品や減塩調味料など健康サポートに活用できる商品の展示もあり、日頃触れることの少ない貴重な情報も得ることができたと思います。 @開催日:2018.12.19 場所:八戸福祉公民館

最後は、今年初めの学術セミナーから、

「新時代を担う薬局の姿とは～薬局のイノベーション～」と題し、保険薬局経営者連合会会長の山村真一先生をお招きしました。昨今、院外処方箋が 75%にまで達しているにも関わらず、いまだ薬剤師の存在意義を問われている現状です。今私たち薬剤師に必要なのは私たちの存在が有益だという的を射た具体的リアクションと証明ということで、「国民を薬物による有害事象から守る」という、基本的かつ薬剤師としての責務をどうやって遂行していくか、保険者との連携が必要であるというお話でした。また、保険薬局に来ている患者さんたちを「再入院させない」という具体的な目標を立てることで患者さんにとっても保険者にとっても、薬局にとっても有益であることを力説されました。今年もまた薬剤師の存在意義がいろいろ話題にあがることと思いますが、胸を張って自分たちの仕事を誇れるような仕事をしていけるよう、薬剤師会でもその一助となるようなセミナーを企画してまいりたいと思います。

いかかでしたでしょうか？今年もここでしか味わえない研修会を提供していきますので、お見逃しなく。